

令和元年度 国立中央青少年交流の家教育事業

# 教員免許状更新講習

【必修】－教育の最新事情－

【選択必修】－学校における危機管理上の課題と対応－

開催要項

## 1. 趣旨

小・中・高等学校、特別支援学校及び幼稚園の教員を対象に、免許状更新にかかる必修領域及び選択必修領域の講習会を静岡大学及び御殿場市と連携し実施する。

## 2. 主催

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立中央青少年交流の家

## 3. 協力

静岡大学、御殿場市教育委員会

## 4. 期日

【必修領域】令和元年12月7日(土) \*希望者は当交流の家に宿泊することができます。

【選択必修領域】令和元年12月8日(日)

## 5. 会場

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立中央青少年交流の家 (静岡県御殿場市)

## 6. 対象

小・中・高・特別支援学校及び幼稚園教諭

※必修6時間、選択必修6時間の計12時間の講座になります。選択18時間は、本講座では履修できませんので、御注意ください。

## 7. 募集人数

各回40名 最少催行人数：18名

※4月3日(水)9:00から受け付けます。(定員に達し次第、締め切ります。)

※最少催行人数に達しない場合は、開設を中止することがあります。

## 8. 内容(予定)

### 【必修領域】

#### 講義①(2時間30分+試験30分)

「子ども観、教育観等についての省察」、「教育的愛情、倫理観、遵法精神その他教員に対する社会的要請の強い事柄」、「居場所づくりを意識した集団形成」「国の教育政策」、「世界の教育の動向」及び試験

講師：松尾由希子氏(静岡大学大学院融合・グローバル領域准教授)

#### 講義②(2時間30分+試験30分)

「子どもの発達に関する、脳科学、心理学等の最新知見に基づく内容」、「特別支援教育に関する新たな課題(LD、ADHD等)」、「カウンセリングマインドの必要性」及び試験

講師：加藤陽子氏(静岡大学非常勤講師)

**【選択必修領域】**

講義①～④ (75分×4+試験60分)

「学校における危機管理上の課題と対応」「教育相談」及び試験

講師：金子泰之氏 (静岡大学大学院融合・グローバル領域講師)

**9. 日程表**

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00～		
12/7 (土)		受付	開講式 説明	講義 必修① 必修② (試験・休憩含む)		昼食 休憩	講義 必修② 必修① (試験・休憩含む)		閉講式	夕食・入浴	解散		
12/8 (日)	朝の つどい	朝食	開講式 説明	講義 選択必修①	休憩	講義 選択必修②	昼食 休憩	講義 選択必修③	休憩	講義 選択必修④	休憩	試験	閉講式 解散

\*各日上段は宿泊参加者の日程、下段は日帰り参加者の日程

**10. 講習会費 各日 6,000 円**

\*交流の家の食堂での昼食を希望する場合は、別途 600 円がかかります。(要事前申し込み)

\*宿泊を希望される場合は、別途シーツ等洗濯料(300 円)、食事代 (夕 730 円、朝 500 円)、傷害保険代(300 円)がかかります。

**11. 応募期間・応募方法**

(1) 応募期間

平成 31 年 4 月 3 日 (水) 9:00～6 月 5 日 (水) 定員に達し次第、締め切ります。

(2) 申込み方法

電話、ファックス、メールにより、以下の事項をお知らせください。

氏名、性別、生年月日、自宅住所、自宅と携帯の電話番号、勤務校名、勤務校の電話番号、受講希望(両方受講、選択のみ受講、選択必修のみ受講)

申込み後、受講の可否を連絡します。受講可の連絡を受けた後に受講申込書を御郵送ください。写真と、「証明者記入様式」の御記入をお忘れなくお願いします。宿泊、食事等の希望については受講申込書の提出以降に当所からお伺いします。

\*必修・選択必修の両講座を受講する方を優先します。

**12. お申し込み先 (問い合わせ先)**

国立中央青少年交流の家 教員免許状更新講習担当 市川 大、土屋 貴弘、中込 崇

〒412-0006 静岡県御殿場市中畑 2092-5 TEL : 0550-89-2020 FAX : 0550-89-2025

E-mail : fujinosato-kss@niye.go.jp

URL : http://fujinosato.niye.go.jp/

**13. その他**

個人情報「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」に基づき適切に処理し、本事業の関する事務にのみ使用し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示することはありません。

また、本事業中に撮影した写真や制作物、感想文等を当機構の事業報告書や広報等に使用し、ホームページにも掲載することがありますので御了承ください。